

教科目名 建築学概論(Introduction to Architecture)

学科名・学年 : 都市システム工学科 4 年

単位数など : 選択 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 工藤雅史

授業の概要			
建築の機能性と意匠性を中心に建築学の概要を学ぶとともに、建築空間の認識を目的に演習を通して建築設計(二次元)や建築模型(三次元)で表現する方法を体験する。また、写真や設計図などを用いて建築デザインの紹介を行い、建築空間の認識を理解する。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(B2)
(1) 建築空間の構成とその機能性, 意匠性について理解する。(課題)			
(2) 建築の標準的な図面表現の方法を理解する。(課題)			
(3) 設計演習や建築模型の制作を通して, 建築の仕組みや建築学の体系を理解する。(課題)			
(4) 建築用語と各部位について理解する。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7 8	1. 建築とは ~建築学体系~ 2. 演習 I (建築空間と構造) 3. 演習 II (建築空間とデザイン) 4. 住宅 I (住宅空間の構成) 5. 住宅 II (高齢者とバリアフリー) 7. 住宅 III (環境配慮) 8. 建築紹介	○機能性と意匠性を併せ持つ建築学の概 略を理解する ○図面と現実空間の整合性を理解する ○折り紙建築により立体構成を理解する ○動線とゾーニングの重要性を理解する ○日本の住宅様式や設備, 変遷を理解する ○バリアフリー, 環境配慮の建築空間・設 備を理解する	【理解の度合い】
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 9. 演習 III (二世帯住宅の設計) 10. 演習 IV (住宅の模型)	○住宅平面図の作成で建築の図面表現方 法を理解する ○プランニングの提案によりプレゼンテ ーション方法を理解する ○エスキスチェックにより建築空間の制 作過程を理解できる ○模型制作により仮想空間の認識を行う	【理解の度合い】
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意 時間内に課題の提出ができなかった場合は, 宿題となります。			
教科書 なし			
参考図書 なし			
自学上の注意 授業で配布した資料は自宅で整理し, 要点をまとめておくこと。			
関連科目 公園緑地計画			
総合評価 達成目標の(1)~(4)について 2 回の試験と課題で評価する。 総合評価=0.3×(2 回の定期試験の平均)+0.7×(課題点) 総合評価が 60 点以上を合格とする。 再試験は実施しない。			
			【総合評価】 点